

目次

I. 総括研究報告

1. ウイルス検出を目的とした体外診断薬の再評価技術基盤に関する研究 ————— 4
濱口 功

II. 分担研究報告

1. ウイルス感染症の迅速診断キットに関する研究 ————— 11
多屋馨子

2. 風疹ウイルス遺伝子検出法の整備 ————— 16
岡本貴世子

- 表 1: 臨床検体からの風疹ウイルス遺伝子検出 ————— 18

3. インフルエンザウイルス A ヘマグルチニンに対するモノクローナル抗体を用いた
ELISA 法の確立 ————— 19
阿戸 学

- 図 1: 3 つの prime / boost 法によるマウスモノクローナル抗体の作製 ————— 22

- 表 2: マウスモノクローナル抗体の亜型特異性 ————— 22

4. C 型肝炎ウイルス検出を目的とした体外診断薬の再評価に関する研究
-HCV 検体パネルを用いた検討- ————— 23
加藤孝宣

5. Real-time PCR を使ったウイルス定量技術の標準化と第四世代検出試薬の体外診断薬
審査への応用 ————— 27
草川 茂

- 図 2: Real-time PCR の鋳型として用いたプラスミド ————— 30

- 図 3: 各サブタイプ・CRF・グループに対する HIV-1 MA 及びアンピシリン耐性遺伝子を
増幅するプライマーペアの増幅効率の比較 ————— 30

6. 血液を介して感染するウイルスの標準品整備に関する動向についての研究 ————— 31
百瀬 暖佳

- 表 3: 2013 年の WHO ECBS において承認されたウイルスの国際標準品等 ————— 35

III. 研究成果の刊行に関する一覧表 ————— 36

IV. 研究成果の刊行物・別刷 ————— 39